

平野啓一郎 特別講演

無料

芥川龍之介 の眼差し

古典文学から人間の心理、社会の様相、文壇の潮流…と、
様々なものに向けられた芥川の「眼差し」を通じ、
その思想と現代性について、
芥川賞受賞作家の平野啓一郎がお話します。
芥川龍之介の133回目の誕生日に行う特別講演!

2025年 3月1日 土
14:00開演 (13:30開場)

出典：「近代日本人の肖像」国立国会図書館

講師：平野啓一郎 (小説家)

【会場】 滝野川会館大ホール

JR京浜東北線「上中里駅」より徒歩7分
東京メトロ南北線「西ヶ原駅」1番出口より徒歩7分
JR山手線「駒込駅」北口より徒歩10分
北区コミュニティバス (Kバス) 王子・駒込ルート停留所⑪⑰
田端循環ルート停留所⑪より徒歩1分

【定員】 450名 (抽選・全席自由)

【締切】 2月12日(水) 必着

【申込】 申込フォーム、はがき、またはメールにて
以下の内容を記入

- ①講演名 ②住所 ③名前 ④年齢 ⑤電話番号
 - ⑥車いす席が必要な方はその旨と同伴者氏名を明記
- ※申込は1人1件まで



申込フォーム



平野啓一郎 ©ogata_photo

無料

芥川龍之介生誕祭 第1弾 平野啓一郎 特別講演

芥川龍之介の眼差し

2025年 3月1日(土) 14:00開演 (13:30開場)



講師

平野啓一郎 (小説家)

Keiichiro Hirano

プロフィール

1975年、愛知県蒲郡市生まれ、福岡県北九州市出身。京都大学法学部卒。在学中の1999年に文芸誌『新潮』に投稿した小説『日蝕』で第120回芥川賞を受賞した。以後、一作毎に変化する多彩なスタイルで、数々の作品を発表し、各国で翻訳紹介されている。主な著書に、小説『葬送』、『高瀬川』、『決壊』、『ドーン』、『空白を満たしなさい』、『透明な迷宮』、『マチネの終わりに』、『ある男』、『本心』等、エッセイに『本の読み方 スロー・リーディングの実践』、『小説の読み方』、『私とは何か「個人」から「分人」へ』、『考える葦』、『「カッコいい」とは何か』、『死刑について』、『三島由紀夫論』等がある。

2024年、短篇集としては10年ぶりの発表となる最新作『富士山』を刊行。

【申込】 右の申込フォーム、
はがき、またはメールで
2月12日(水) 必着。



申込フォーム

- ①講演名 ②住所 ③氏名
④電話番号 ⑤年齢
⑥車いす席が必要な方はその旨と同伴者氏名を明記

【定員】 450名(抽選、全席自由)

【会場】 滝野川会館大ホール
東京都北区西ヶ原1-23-3

- ・JR京東北線
「上中里駅」より徒歩7分
- ・東京メトロ南北線
「西ヶ原駅」1番出口より徒歩7分
- ・JR山手線
「駒込駅」北口より徒歩10分
- ・北区コミュニティバス (Kバス)
王子・駒込ルート停留所①⑦
田端循環ルート停留所⑩より徒歩1分



【主催・問合せ・申込先】

〒114-8503 (住所不要) 北区文化施策担当課 TEL:03-5390-0093 E-mail:bunka-ka@city.kita.lg.jp

【協力】(公財)北区文化振興財団 田端文士村記念館

無料

芥川龍之介生誕祭 第2弾

田端文士村記念館 × CINEMA Chupki TABATA

映画「羅生門」ユニバーサル上映会

2025年 3/20(木・祝) 14:00開演

滝野川会館大ホール(400名・抽選、全席自由)

ヴェネチア国際映画祭金獅子賞を受賞した日本映画の至宝!

【申込】 右の申込フォーム、または往復はがきで
2/17(月)必着。1件2名まで。

【記入内容】①イベント名 ②住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤年齢
⑥車いす席、音声ガイド、視覚障がい者優先席、「上中里」
「西ヶ原」駅から会場までの付添いが必要な方はその旨を明記。



申込フォーム

【主催・宛先・問合せ】〒114-8523 (住所不要) 田端文士村記念館 ☎ 03-5685-5171

(仮称) 芥川龍之介記念館

▶▶▶ 最新情報

2026年度、東京都北区は田端の旧居跡地に(仮称)芥川龍之介記念館を開館する予定です。書斎の再現や庭、建物にも意匠を凝らし、当時を「体感(feel)」できる施設を目指しています。現在、開館に向け寄附の受付をしています。ご支援の程よろしくお願いたします。



(仮称)芥川龍之介記念館 完成予想図

【問合せ】北区文化施策担当課 ☎ 03-5390-0093